

59年9月9日 札幌 旭川合同支部総会 久保田先生の講演

宇宙哲学とアダムスキー問題の未来

北海道は、外国にまたよ様な清新な感じがするところで、家並一つみても、本州と違う。精神も物産も、同様に大切なものである。宇宙からの訪肉着に書かれているように、スピークヒーパルのオモも、生活自体ものすごく科学的で、両方のバランスが取れている。抽象的なことばかり言うていてもはたがたいので、具作的な話をしたい。

地球人と云うのは、万物一件感がまるでない。全て物を個々に分離した、分割したものと云っている。これは大変なまちがいで、万物は一件化したものであり、表面上、肉眼で見てわかっているように見えるけれども、

ウコンもそのように書いておいて、全てを原素から出さしている。最小基本単位は元素まであり、わかれば88種でできていることに対して、人は驚くべき。おこなわれている。これが地球人の最大の欠かんで、もっと、驚くべきや神秘を感じようにならなくてはかたである。

あらゆる物育は、母の元素で出来ていて、これがあらゆる物に活用されている。だから一体である。例、母乳(母親と子とは一件化したものである)

他人も一件である。なぜなら、同じ空気を吸っているからである。食べ物も、同じ釜の飯、というように、親近感もとはずわて一つのものである。

②この万物一件感のフリーリニアを極端なまでに同めなさい。これを頭の中だけで考えているだけでは、全然だめです。フリーリニアを全身からわきまかします。リウツノスなびがう起きますことです。

すると、テレパシーの能力が出てくる。それかう、環境がみるみるうちに、良い方へ変わります。例、職場でもやばい人がいる。↓万物一件感のフリーリニアをおこすと、相手が、かつとかわります。何か相手に影響をおよぼしているのだから、いんてんです。

進化(下感星の人々は、何をかても、全て、自分自身であるかのように)に観察する、というのが最大のポイントです。これは、なかなかわかって、いんてんです。しかも、自己トリーニニアをやれば、そのフリーリニアは、ゆずり向まうてくるんです。

イエスが、自分を愛するよう(に、他人を愛しなさい)といつた音心は、ユダヤ教の天主、↓まらかっている。観念の自由心でイエスの言葉をもらって、愛するといふことは、自分と他人と不可分の状態であることを感じることになります。

その音心で、科学知識は、大変大切です。これが、全世界りに広まるように、いつかぼろと思えます。哲学時、宗教的な面から、一件感を説いても、かたです。科学的な面から、こそ、この一件感の認識され、広まるようにならなければ、

③万物を今より平等に見て、差別をなくすようにも、下さい(といふ)ことです。礼儀作法をい保えた上で、内心で人間は全て平等であることを強く思う(こと)です。

近所の人なりも、扱うように同じように扱って下さい。決して神様扱いはしないで下さい。おしゃっておられますか。私、やけに進歩したオマです。神様かんにみえろんです。

・そして、自分のパワーでもって、相対心パワーといつか、フリーリニグというもので、宇宙全体を包みこえてしまうようなそういうフリーリニグを起さないと、自分のフリーリニグを広めること、広げることを着目しています。

・「ゲームスキー」は、あらゆる原子の中に「スパー」があることになっています。
「スパー」は、火花という他に、生気の音の意味、生命力、生命そのもの、これが宇宙の意識そのものですね。これは単なる力であって、音意識です。これは意識であるからこそ、原子を結合させる力があるわけであって、結合させるから自分なので、物質ができるのです。
かためるという

力と音意識はあつて、音意識は、物を集めて凝集させる力があります。その最も到達した状態が、人作です。

・細胞を70と80年でも集めてバラバラにならないうように固めて維持している力は、同じもの、ドイツのニコシニカーが、これは「人作は、秩序」を吸い込んでいっている」と表現。
ア氏流に言えば、「宇宙の音意識ドリカされていっている」といっています。

Ex. イヤヤ人かくる。ふつうな「イヤヤ」か、それは目の中の細胞が判断。
そう思わないで、相手は、原子の固まりか、ということとは、単に物質という風に見えるのではなく、生気がたまっている。↓「宇宙の意識のかたまり」。↓「神のかたまり」。
と人々を見ても、神とみなさうやならない。
ちよつと宗教的にとらえられてしまう。か、神という言葉はあまり使わない。

さういふ人を見て、「神のかたまり」と思えば、自分に對して「イヤヤ」ことをしても気にならなくなります。Ex. 相手もその内、変化してきます。
人間のフリーリニグや相対心は、必ず周囲に影響を与えらる。必ず相手も変わっていきます。

感情というものは、一瞬的なもので、絶対的なものではありません。決して相手の感情に乗ってはいけません。同調しないで、ほめてあげれば、いつか必ず静まてきます。いつか消えるところが、地球人は、相手の感情に乗ってしまつて同調してしまう。絶対視してしまう。

◎ 自分の内部、かつく音意識の音に耳をたむけなさい。
ア氏もいっているが、みなさん、ピピと音が聞こえるか、こうすれば何でしりかかります。
私がいちいち音内

Ex. イエスとその弟子10人、その中から12人選んだ。その10人の中に、GAPP会員の中の人で、救世主の人か、必ず何人かいる筈なので、たれる（よ）か、と聞いた。「それは、あなたの内部の音意識に聞きなさい」といって教えてくれた。

④ 未来に開くことは教えてくれた。
東吉小で大地震は、起らない。
オ三次大戦は、起らない。
全て、教えてくれるわけでもない。けじめをつけている。何もこまかにことを聞かない。

◎ オ三次大戦は必ず起きる。
ここでは、相手は、いらない。

② 全面核戦争という、これはなれば、スペースアラブ人は、ある機械を用いて、核兵器をかたむけてしまふ。通常の兵器は、地球人にまかせておく。

その通商や兵器の細工、細工兵器といたもので戦争、（かしまめ、いつとここで発生する）はわがまま人し、簡単にには起らないと思ひます。

地球人は、感情の抑制ができてない、どうすれば感情の抑制を長続きさせることができるか、これをスペースヒールは研究している。

しかし、感情を完全になくしてしまおうというのは、まちがいで、なくすことはできないから、これを抑制すればよいのである。

◎どうすれば感情の抑制ができるか、四官をあるいに尊敬しあうようにする。あるいには批判するとかいのである。目、耳、鼻、口、おまへに尊重する。目に、そんなに構はないなど。

目によびかける。四官によびかけて抑制する。これをアダムスキーは、スペースヒールから伝えられて知ったのである。

◎バックナンバーの送り贈と、献本活動、スペースヒールは、大いに期待し、又ほめてあられるので、強めに進めてゆきたい。このように正道にのってやうているのは、日本GAPがかり。

◎円盤を（よう）中見る人は、これは上空から激刺されている。

◎オニエルサレム旅行中は名を覚えて、アダムスキー哲学の偉大さを世の衣がう感じたといふこと、旅行の動機を感じたといふ事をしている時、円盤が出現、これは、激刺が勇気づけるために出現されたもの、アダムスキーから伝えられたことで、下着類は、木綿やウールのような天然繊維のものかよいこと。

何円盤は電気を流すのに必要である。これは重要なことである。化セは、静電気がおきるのをよくない、いふ必ずアダムスキーが認められる。そう遠いことではない。

質疑応答

7. ゲルマニウムは、知く人とそうではない人がある。

8. ア氏の哲学に熟中していた有名人としては、三島由起夫と、徳川夢声、まひ其能人でもよく知っている、ア氏全集を読んでいる。

9. これからのGAPの展望としては、ヒトにア氏問題をもちと世界中に広めたい考え、そのためには、財団法人にて出版物を全国に流したい、たか資金が最低一億必要。

10. 感情とエゴのコントロールができていないので、これを長くコントロールする方法を考えて下さって、（リキ）に頼らなくても、それは十分です、すま、これは、ア氏の本に全部出ています。

11. 宇宙の二件法として、遠い星雲の宇宙を、イメーシを構へ、強かに構へ、

12. 献本活動では、オ一卷とオ五巻を（一）に持っていくこと。

13. 教念は、神とは宇宙の意識であり、物の中に在る、（ミ）を唱えて、信念の力を、（知）の、

5. スペースプログラムは、地球上でははかり進んで、

4. 有素な細菌は、地球の低次元であるから、

3. 低い波動にあって、できたものである、（よ）なもの、高次元な惑星にはいらない。

3. スペースプログラムを進める上で、人にはそれぞれカルマがあるので、何人にもまわっていいものではない、まずア氏全集をすすめてやる。

4. 恐怖心を捨てない、戦世の思ひ、戦争後の食糧不足の中で生きて残り、残っても及んで地獄のよう、これよりも、堂々と死んで、良き惑星に生まれかわるべきである。

5. スペースプログラムは、地球上でははかり進んで、

6. 有素な細菌は、地球の低次元であるから、